



KIFA スクウェア

[編集] 草津市国際交流協会



滋賀県国際交流推進協議会全体研修会

滋賀県国際交流推進協議会の全体研修会が10月7日(金)にキラリエで開催されました。KIFA副会長の中西まり子氏が外国人機能別消防団の活動について講演し、機能別消防団員が活動実演をしました。

2022年10月滋賀県国際交流推進協議会全体研修会においてKIFAの外国人機能別消防団員の取り組み～支えられる側から支える側へ～と題して発表させていただきました。

通常、滋賀県内の市町の国際交流協会職員や大学などの関係団体職員のみ参加ですが、今年度は広く一般の方々も参加されていました。

日本初の外国人機能別消防団員が2015年に草津市に誕生した経緯から今日までの活動について話しました。というのもこの機能別消防団誕生にいたるまでの協力、そして発足してから7年間、団員補充、活動のコーディネートなどずっと関わってきました。今日までのべ20人の団員が活躍してくれました。私は彼らの代弁者と思ってこの日登壇していました。制度の壁があり本来なら消防団員になれない外国人に特定の活動のみに従事するという機能別消防団の仕組みを利用しました。後半は消防署職員と女性消防団員のお手伝い

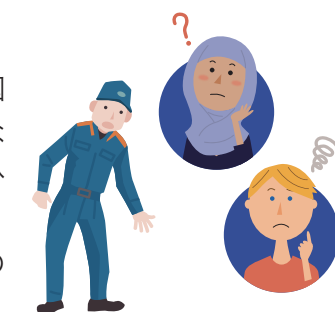
のもと機能別消防団員による礼式訓練の披露と母語による救急搬送やアップくんを使った心臓マッサージなどの応急処置のデモンストレーションも行いました。ベトナム、中国、フィ



リピン出身の団員たちの異国で生活する同胞たちの力になりたいという使命感がひしひしと伝わってきました。

当日、団員たちへたくさんの質問も飛びかいました。日本人

のように防災の知識も避難訓練の経験もないかれらは、いざ災害が起きたら言葉の壁や文化の違いで災害弱者になります。そのような状況のとき、彼らが率先して外国人たちのフォローにまわってくれるはず。今回地域の国際交流の最前線を担っている職員の方々にお話する機会をいただけたことに感謝しています。ありがとうございました。



● KIFA副会長 中西まり子



やさしい日本語市民研修会



「やさしい日本語市民研修会」が、2月10日(金)に開かれました。前回2022年10月12日市職員向け研修会でもご講演いただいた船見先生による講義のあとのワークショップでは、KIFAの5名の方がファシリテーターとして参加してくれました。



以前草津市の職員の方へ向けに行われた研修が今回は一般の方へ向けに開かれました。初めに、草津市の多文化共生への取り組みについてお話があり、その後「やさしい日本語」のワークショップがありました。ワークショップでは、身近なところで起こりやすい場面を想定し「目の前に外国人がいたらどんなやさしい日本語を使うか」を個人で考え、隣や近くの参加者とペアになって話しました。私は他の二名のボランティアスタッフとともにファシリテーターとして各グループに入らせていただきました。参加者のみなさんが研修で学んだことをすぐ取り入れながらペアワークに積極的に参加されている姿がとても印象的でした。

私自身もいざという時に備えて、普段からやさしい日本語を使ってみたい、「この言葉はやさしい日本語で何というだろう」と意識して過ごすことも大事だなと感じました。

● KIFA会員 安居真菜美

88%の外国人が、日本語を話せるとの事実を知り、とても驚きました。そういえば自分自身もアメリカに住んでいた時、仲良くなった現地の友人が、簡単な英語で話しかけ親身に話を聞いてくれたことが、とても嬉しかったことを思い出しました。

今回の講座では、相手の立場になって、やさしい言葉話すことの大切さを学びました。具体的な方法は、子どもでも使える方法。それは、日本人にも使える方法だと思いました。難しい単語やカタカナではなく、やさしい言葉を使うことで、外国人だけでなく日本人のコミュニケーションを円滑にする。やさしい日本語を心がけるだけで誰かの心を温かくすることができ、あたたかくやさしい社会が育まれると思いました。

自分ができることは、躊躇せずに交流すること。また、活動している市民団体のイベントに外国人の方も参加しやすいように工夫し、地域に溶け込みやすくするきっかけ作りの一つになれたらいいなと思いました。

● 研修会参加者 角谷貴美子

じんけん ミニフェスタ 11/12



11月12日(土)びわこ文化公園で、滋賀県が主催する「じんけんミニフェスタ」が開催され、KIFAは昨年同様「外国人によるパスポートラリー」で参加し子供達と楽しい時間を過ごしました。

じんけんミニフェスタは、私にとって草津市での初めてのボランティア経験でした。2年ほど前に滋賀県に引っ越してきましたが、これまでなかなか地域の方々と交流する機会がありませんでした。でも、このじんけんミニフェスタを通して、留学生だけでなく、地域の方とも交流することができ、とても充実した時間を過ごすことができました。当日はお天気にも恵まれとても暖かく、留学生のスタンプラリーでは、小さいお子さんだけでなく、大人の方も外国語での交流を楽しんでいたようで、嬉しかったです。

また、外国人だけによる「機能別消防団」の発表も初めて見る事ができ、このように地域において外国人が主体的に活動できる場があることの大切さについても学びました。これからもっと地域のことを知っていきたいと思っているので、またこのようなイベントに参加させていただきたいと思います。

● KIFAボランティアスタッフ 三宅茉依



【姉妹都市だより】

香川県観音寺市からお便りを頂きました

観音寺市八幡町の市指定史跡「一夜庵」を建てた山崎宗鑑は、草津市が生誕の地、観音寺市が終焉の地であるという縁から、1982年10月に姉妹都市提携を結びました。

観音寺市は、国内では滋賀県草津市と北海道・真狩村、海外では米国ウィスコンシン州アップルトン市と姉妹都市提携をしています。

新型コロナウイルスの影響で、30年以上続くアップルトン市との青少年ホームステイ交流や各国料理大会などの行事が3年間中止となる中、観音寺市国際交流協会(K I E A)が知恵を絞り、新たな交流や国際理解に繋がるイベントを実施してきました。

例えば、アップルトン市とのオンライン交流をはじめ、オランダの小学校と市内小学校との作品交流、市内中高生が2日間英語で過ごすサマーキャンプ、元オリンピック選手の講演会など。今年1月には英語落語家の公演を開催しました。

オンラインでコミュニケーションできる時代になっても、

他国で生活し、現地の方と触れ合う経験はかけがえのないものです。今年はアップルトン市とのホームステイ交流を再開できるよう準備を進めています。今後もさまざまな形で国際交流を推進していきたいと考えています。

● 観音寺市秘書課広聴広報係



2月17日(金)の夜、キラリエ草津501会議室でKIFA国際理解部会主催
「JICA帰国隊員報告会:いろんな国で活躍する日本人!」を開催しました。



樋口愛美さんは、JICA海外協力隊2018年度3次・2021年度9次隊員としてラオスでご活躍されました。活動期間中、コロナ禍による一時帰国を余儀なくされ色々ご苦労があったそうですが、そんなことは吹っ飛ばすかの様な楽しい語り口とご自分で撮影された動画を織り込んだ素晴らしいプレゼン資料に、聴衆は耳も目も釘付け状態!とにかくパワフルに解説・紹介して頂いたその一端をかいつまめば…。

JICAは、これまで57年間90カ国に5万人の隊員を派遣されました。派遣前の集合教育では、中学校3年間の英語の勉強をわずか70日間にギュッと圧縮しておさらい、さらに紛争時対処法や「ほふく前進」の稽古まで!(どうりでパワフル!!)



樋口さんの任地・ラオスは、49もの多民族国家。内戦がながく続いたので、不発弾・地雷原が至る所に。今でも被害に遭う子供たちが大勢いるそうです。でも、都会へいけばかつての宗主国がフランスだったので、フランスパンとワインは美味しい。そんな国で、樋口さんがやってこられたのは、「一村一品」と題して地場産業の創生・育成・発展の支援でした。キーワードはエコロジカルと自主。『人に魚を与えれば一日で食べてしまうが、釣り方を教えれば一生食べていける』というたとえ話の通り、自主独立で、伝統のクメール餅などの商品開発を支援されてきました。

長い伝統を持つクメール餅を、日本でも手に取れるようにと、帰国後は独自ブランドを立ち上げて頑張っておられます。わたしも応援したくなりました。

● KIFA事務局長 吉延眞一

ワールド シンキングデイ2023 ～国際交流～



2月19日(日)、ロクハ公園デイキャンプの森(バーベキュー広場)で、ガールスカウト滋賀県第7団のみなさんとKIFAによる「Cooking&Gameでアウトドアを楽しもう♪▶ガールスカウトと留学生の交流◀」と題して、交流会を開催しました。初めてのイベントで、しかもあいにくの雨模様でしたが、おしゃべり・お食事・ゲームと、楽しいひととき・新しい交流の輪を広げました!!

日本のガールスカウトと一緒に活動する機会があり、参加できたことは忘れられない経験でした。留学生として、他の国の若者と繋がることができたことは心温まるものでした。

雰囲気は活気に満ち、笑い声やおしゃべりであふれていました。文化の交換が行われ、外国の料理を分かち合い、お互いの伝統について学ぶことができました。

一緒にゲームをすることは特に楽しく、言葉の壁を取り払って、共有の体験を通じて絆を深めることができました。初めて会う人たちとの緊張感もありましたが、みんなの温かさや友好的な態度が私たちに安心させてくれました。

全体的に、このイベントに参加できたことで、異なる文化の人々と繋がり、自分自身の視野を広げることができたことに感謝しています。笑い、学び、新しい友情が詰まった素晴らしい体験であり、その素晴らしい経験の思い出をいつまでも大切にしていきます。

● ワールドシンキングデイ2023 参加者 張子言(中国)



「日本語ひろば『きずな』」



11月6日(日)

大文珠山ハイキング

12月24日(土)

年末お楽しみ会

1月21日(土)

KIFA主催防災講習会

日本で初めてハイキングに行ったのは、2019年5月に日本に来てから、KIFAと一緒に大文字山に登った時でした。しかし、2020年に新型コロナウイルスの影響で、KIFAの仲間たちにはえなくなりました。自分はリモートで仕事を始め、日本語の勉強をやめて自分の仕事だけに集中しました。



2022年になってようやく、KIFAの仲間たちに会うことができ、また日本語を始めました。新しく滋賀に来た外国人も多く、その中にハイキングに行きたいという人もいて、再びKIFAで大文字山に登ることにしました。KIFAと一緒に初めて登った山にまた行けるなんて懐かしい！と思いました。前回と同じように本当に楽しかったです。大文字山の一番の魅力は、山で短いハイキングして、下山後に京都を歩けることだと思います。

ゼロ級の日本語で来日し、今日本語がわかるのはKIFAに平仮名から日本語を教えてもらったおかげです。また、みんなでハイキングできるのを楽しみにしています。

● 会社員

ダヴィ・アラウジョ・ダル・ファブロ(ブラジル)



This is my first hiking experience with international friends and KIFA teachers (Sensei) in Japan. In this group, KIFA students came from various countries, such as Brazil, Malaysia, Vietnam, China and Indonesia.

Arriving at the climbing area, Sensei provided information about Japanese culture and customs such as praying at shrines before climbing the mountain and also manners during the climb. Sensei also pointed out a small shrine in the mountain area which is shown to honor the god of rain. There are several sacred places on the mountain that must be looked after.

During the climb Sensei always encouraged us to talk about culture and customs in our country when climbing mountains. Sensei was also very friendly and helpful to us.

This mountain has good tracks, especially for novice climbers, and also easy-to-read directions make this climb easier. At the top of the mountain, we rested

for a while for lunch and got to know each other. From the top of mount Daimonji we can see the city of Kyoto and its buildings, such as the Kyoto tower. My personal hope is that this will not be KIFA's last outdoor program. Because from this program we as foreigners get a lot of valuable experience, friends and knowledge.

● 立命館大学 留学生

Romi Hamfrisa Putra(インドネシア)

年末お楽しみ会を企画してくださった素敵なボランティアの方、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。新型コロナウイルスの影響で長らく中止になっていたこのイベントを、ずっと楽しみにしていました。



このイベントでは、日本や外国からの多くの友人と交流し、学ぶことができたほか、楽しいゲームをたくさんしたり、たくさんのプレゼントをもらえたりできました。また、浴衣をプレゼントしていただき光栄です。来年の夏にこの浴衣を着るのが待ち遠しいです。

改めて、美しい日本で過ごした数年間、私に特別で忘れられない瞬間を与えてくれてありがとう。

● 立命館大学 研究員

ゲン ティ トウオン (ベトナム)



1月21日立命館大学BKC内での日本語ひろば「きずな」のクラスで草津市女性消防団(KFFL)、外国人機能別消防団の方に来ていただき防災研修を行いました。

まず最初に、レベル別のグループに分かれて防災学習テキストを使って防災学習を行い、そのあと草津市危機管理課によるハザードマップや地震の防災マップの説明と多言語情報の取り方について教えていただきました。

メインは草津市女性消防団(KFFL)の指導で草津市の外国人機能別消防団員(3ヶ国、4人)によるパフォーマンスとダックを使った啓発運動を会場に来ておられた皆さんと行いました。

最後はみんなで非常食の試食でした。思っていたよりおいしいと評判でした。

● KIFA日本語ひろばスタッフ 高田健一

やさしい日本語サロン

後期の活動

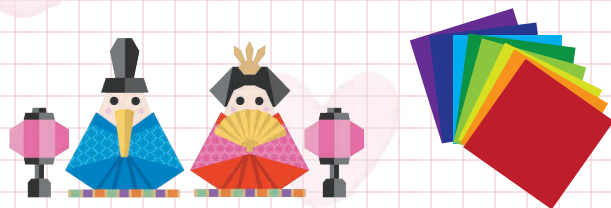
南草津のUDCBK(アーバンデザインセンターびわこ草津)で毎週火曜日に開かれている「やさしい日本語サロン」の今年度後期の活動内容です。



2022年後期もやさしい日本語サロンにはアフガニスタン、インドネシア、キルギス、中国、などたくさんの国から新しく日本に来られた方が参加してくださり、25回の実施で、のべ267人の参加となりました。

11月には、草津市が発祥の「クリスマスブーツ作り」をしました。紙製のブーツを組み立て、スタッフが用意した材料で思い思いにデコレーション。作りながら、各国のクリスマスの様子についても「やさしい日本語」で話し合いました。完成した作品はコンテストにも参加し、草津駅周辺に展示され、素敵な賞品をいただく方もおられました。

そのほかに日本や海外の行事紹介として、2月には旧正月(春節)、節分について、そしてとても可愛い折り紙の「ひな飾り作り」など季節に合わせて楽しみながら日本への理解を深めてもらいました。



折り紙は、ORIGAMI として海外でも人気で「やってみたかった」「とてもきれいですね」との声が上がり出来上がったひな飾りを並べて撮影会。とても華やかなサロンとなりました。

クラフトを作ったり、生活に深く関係することを取り上げると、日本語を勉強中の参加者も気軽に話すことができます。今後も参加型ミニイベントを企画し開催していきたいと思います。

この春、出身国に帰国される参加者の皆さん、サロンでの経験を良い思い出に世界で活躍されることをスタッフ一同お祈りしております。

● KIFA理事 内山礼子

2023 年度

草津市国際交流協会 KIFA 法人会員一覧

アガタ電子株式会社	525-0034	草津市草津 4 丁目 8-24	077-567-1018
社会福祉法人良友会 あゆみこども園	525-0023	草津市平井 2 丁目 13-3	077-563-8989
伊藤内科クリニック	525-0037	草津市西大路町 4-32	077-563-3550
株式会社井上工業	525-0002	草津市芦浦町 313-1	077-568-2288
梅山税理士法人・梅山公認会計士事務所	525-0059	草津市野路 1 丁目 8-18	077-569-1714
エールコーポレーション株式会社	525-0016	草津市北大萱町 5 5 6 番地の 2	077-568-3190
関西エムアイ株式会社	520-3024	栗東市小柿 3 丁目 2 番 10 号	077-552-1185
株式会社関西みらい銀行草津支店	525-0032	草津市大路 2 丁目 9 番 1 号	077-562-2158
株式会社近商物産	525-0037	草津市西大路町 11-18	077-563-3161
クサツエストピアホテル	525-0033	草津市西大路町 4-32	077-566-3333
草津商工会議所	525-0032	草津市大路 2 丁目 1 番 35 号 (キラリエ 3F)	077-564-5201
草津第一ホテル	525-0031	草津市若竹町 5-5	077-562-2411
草津電機株式会社	525-8501	草津市東草津 2 丁目 3 番 38 号	077-563-5111
草津ライオンズクラブ	525-0037	草津市西大路町 4-32 クサツウエスト 4F	077-564-4144
草津ロータリークラブ	525-0037	草津市西大路町 4-32 クサツエストピアホテル内	077-564-9111
有限会社三王都市開発	525-0034	草津市草津 3 丁目 14-45	077-566-3017
株式会社滋賀銀行草津支店	525-0032	草津市大路 1-4-26	077-562-3601
株式会社スマイ印刷	520-3014	栗東市川辺 568-2	077-552-1045
株式会社瀬川元 瓢仙堂	525-0053	草津市矢倉 2 丁目 2-1	077-562-2435
大五産業株式会社	525-0031	草津市若竹町 9-24	077-562-9161
大正電機製造株式会社	525-0072	草津市笠山 5 丁目 1 番 59 号	077-562-8131
トラスティ株式会社	525-0066	草津市矢橋町 2098-3	077-562-8260
株式会社中島電業所	525-0022	草津市川原町 132-4	077-562-0837
日本観光開発株式会社	525-0032	草津市大路 3 丁目 5-64	077-562-1049
株式会社日本旅行草津支店	525-0032	草津市大路 1 丁目 10-1	077-562-6001
有限会社びわこ経営教育研究所	520-0029	草津市下笠町 4209-1	077-568-0714
株式会社プロフリー	520-3014	栗東市川辺 104 番地 3	077-598-6522
ホテルポストプラザ草津	525-0037	草津市西大路町 1-27	077-561-3311
守建設株式会社	525-0054	草津市東矢倉 3 丁目 41-18	077-562-3244
株式会社 M i - O スポーツ	525-0031	草津市若竹 8-38	077-564-6646
宮本クリニック	525-0028	草津市上笠 4 丁目 6-6	077-564-0878
村地総合木材株式会社	520-2524	蒲生郡竜王町綾戸 328-3	0748-57-0615
野洲市国際協会	520-2395	野洲市小篠原 2100-1 野洲市役所南別館	077-586-3106
株式会社ヤマキ	525-0041	草津市青地町 200-10	077-564-0123
立命館大学びわこ・くさつキャンパス	525-8577	草津市野路東 1 丁目 1-1	077-561-3946

案内 2023年度草津市国際交流協会総会

2023年度草津市国際交流協会総会を以下の通り予定しております。

- 日 時 : 2023年4月8日(土)
10:00～11:30(受付9:45～)
- 会 場 : 草津市役所 8階大会議室
※当日は閉庁日となりますので、
庁舎西側の通用口からお入り下さい。



お願い 年会費納入のお願い

平素より、当協会へのご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。当協会の活動は、みなさまからの年会費をもとに運営させていただいております。

当協会の2023年度の活動を開始するにあたり、賛助会員・正会員のみなさまの継続的なお力添えをお願いいたく存じます。つきましては、2023年度分の年会費を下記のとおりご納入くださいますようお願い申し上げます。

- 年会費 : 【個人・団体等】2,000円/1口 【法人等】10,000円/1口
※口数は、一口以上で任意です。※当協会の規定により、年会費を2年以上滞納した場合は自動退会となります。
- 納入期日 : 2023年4月3日(月) ～ 2023年5月31日(水)
- 納入方法 : 以下のいずれかの方法にてご納入ください。

・当協会事務局窓口にて直接ご納入 ・以下のいずれかの金融機関へのお振込み

口座名	草津市国際交流協会 会長 南 啓次郎	
口座番号	滋賀銀行 草津市役所代理店	普通口座 012384
	JA レーク滋賀草津支店	普通口座 0585996

※金融機関でのお振込みには、所定の手数料がかかります。



KIFA事務局新職員の吉延 眞一です。

浦事務局長のあとを継いで、2023年1月から勤務している吉延眞一です。これまで40数年間の製造会社勤務経験しかありませんので、まずは何事も現場・現物・現実で経験を積みたいと思っております。そしてできるならば、KIFAのこれまでの長い伝統とその精神を尊び重んじながらも、変わりゆく環境に応じてKIFA自身も変化できるよう、体質や制度の見直し・標準化を少しでも進めたいと思っております。何卒宜しくお願い申し上げます。